

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 485 事業名 入湯税関連事業

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	2	観光客の誘致
取組		

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H19	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	市川 雅章 (435-1234)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		商工費
	項		観光費
	目		観光振興費
	大事業		観光振興事業
事項		入湯税関連事業	

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山市内の様々な観光資源を活用した観光PRを行うことで、観光客の誘致を図る。	和歌山市内の温泉をPRし、集客を図る。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		○市内の温泉PR用パンフレットの作成等	○市内の温泉PR用パンフレットの作成等	○市内の温泉PR用パンフレットの作成等	○市内の温泉PR用パンフレットの作成等	○市内の温泉PR用パンフレットの作成等 ○「わすば」の看板リニューアル

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	5,250	5,248	5,051	5,050	5,250	5,090	5,250	5,050	5,250	
伸び率 (%)	-	-	-3.8%		3.9%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	3,350	5,079	3,350	4,939	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,350	5,079	3,350	4,939	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	5,250	5,248	5,051	5,050	5,250	5,090	5,250	5,050	5,250	
所要人数	常勤職員	0.44	0.66	0.44	0.66	0.8	0.82	0.8	0.84	0.84
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な予算内訳	宣伝委託料 4,242千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					
年間観光客数				年度目標値	640	650	660	670	680
				実績値	589	582	549	583	
年間宿泊者数				年度目標値	61	62	63	64	65
				実績値	54	54	50	58	
単位	万人	全体目標値	65	全体目標達成度	83.0%	88.5%	87.1%	79.4%	90.6%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	温泉だけでなく、市内の様々な観光資源を活用した観光PRを同時に行うことで、観光客の誘致を図る。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	